

利根山光人

Toneyama Kojin

第93号 平成29年4月30日

記念美術館通信

Memorial Art Museum News Letter

〒024-0043 岩手県北上市立花 15-153-2

TEL/FAX 0197-65-1808



展示室の様子

今回の企画展は、利根山彌恵子夫人から新しく寄贈していただいた民話シリーズ作品を展示しています。

民話シリーズは、早稲田大学校友会が発行している月刊誌『早稲田学報』の表紙を飾るために作成された作品です。

今回は『早稲田学報』の中にあります、児童文学作家・評論家の藤田圭雄氏が書いた「表紙によせて」も一緒に展示しており、民話作品は全部で30点展示しています。民話の喜怒哀楽の内部的情感を表現し、利根山画伯の感性と優れたデッサン力によるユニークで芸術的価値の高い作品が並びます。

画伯の、親しみやすく優しいタッチで描かれた民話の世界を、ぜひお楽しみください。また、力強い表現の多い常設展の東北の祀りシリーズと比較してみると、より楽しむことができます。

尚、早稲田学報はすべて揃っていませんので、予めご了承ください。



平成29年度企画展

利根山光人 — 民話の世界 —

会期：4月1日(土)～5月25日(木)

※5月26日金展示替えのため休館

市所蔵品のご紹介



早稲田学報

今回、企画展で展示している作品は、早稲田大学校友会が発行する会報『早稲田学報』の表紙として、利根山光人画伯が描いたものです。

学報の中にある「表紙によせて」は藤田圭雄氏が書いたものになります。詳しい年月等はわかりませんが、長きにわたり表紙を描いていた模様です。

こちらの『早稲田学報』は及川政直様(北上市花園町)より寄贈いただいた資料です。

企画展開催中はこちらも展示しておりますので、是非見にいらしてください。

—平成28年度 利根山光人記念美術館絵画教室を終えて—

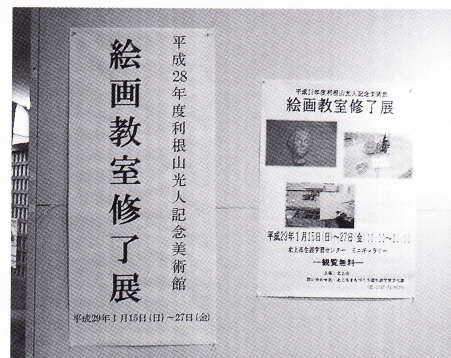
絵画教室を終えて、1月に修了生による修了展を、北上市生涯学習センターのミニギャラリーで開催し、絵画教室で学んだ成果を発表しました。

受講生のコメント

- ・小学生以来、まさか絵を描くとは思っていなかったが、市でこのような教室を開いていただきありがたい。
- ・絵を見るのは好きでよく見に行きますが、描くのは難しい。見た通りにはなかなか描けなかったが、先生に教えてもらえてよかった。
- ・生活の中で風景を見ていて、どんな色に塗ればいいのかとかを考えるようになった。
- ・見るのと描くのは違う。好きだけでは描けない。
- ・落ちこぼれなのではないかと感じ、行きたくなかったけど、教室に来て先生と話をして次は頑張ろうと思えたし、また来たいと思いました。
- ・自分では描けると思っていたけど、なかなか描けずもどかしかった。
- ・奥行きのある絵は難しい。
- ・思った通りに描けるように、これからも続けていきたい。

先生のコメント

- ・絵を描くことの楽しさを感じてもらえてよかったので、体が丈夫なうちはなんでもチャレンジして欲しい。
- ・皆さんの取り組みを見ていて、自分が長くやってもわからないことが多く、自分でもいろいろ勉強し、改めて絵を描く楽しさを思い出しました。これを機にこれから続けて行ってほしい。



修了展の様子

平成29年度絵画教室始まりました！

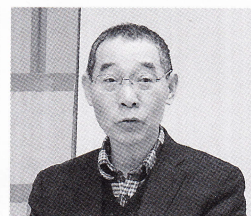
毎年好評を得ている利根山光人記念美術館絵画教室は4月8日、北上市生涯学習センターで開講式を行いました。

絵画初心者や油彩未経験者も多く、開講式の後に行われた講座を熱心に受講していました。教室は4月から8月まで毎月2回、全10回。指導するのは同館千田浩文専任研究員と高橋平光専任研究員の2人。先生方からは「これといった決まりはなく、自由に伸び伸びと作品と向き合ってほしい」との事。デッサンや絵画などの基礎から油彩実技を学び、移動教室もあり、利根山光人記念美術館での講座もあります。

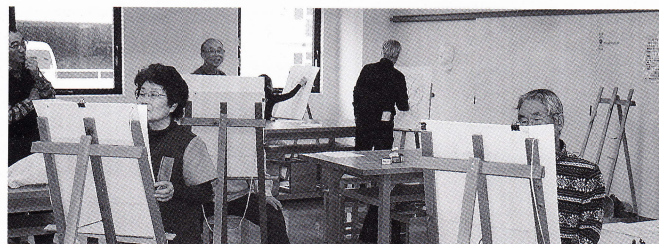
絵画教室終了後の修了生による修了展を目標に、作品の完成を目指します。



千田専任研究員



高橋専任研究員



絵画教室の様子

平成29年度の利根山光人記念美術館専任研究員は次のとおりです。

ちだ	ひろぶみ	たかぎ	しゅんじ	たかはし	ひらみつ
千田	浩文	高木	俊士	高橋	平光

よろしくお願いします。